

施策：	03	子ども・若者の健全育成	財務コード	01090604-01-559
基本事業：	01	子ども・若者の学習機会・体験活動の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	家庭・地域での子どものための活動が充分だと思ふ市民の割合 学校の授業以外で体験活動をしている児童の割合 学校の授業以外で体験活動をしている生徒の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成12年度 ~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
竜岩自然の家利用者			竜岩自然の家の管理・運営を行う。 【運営体制】市直営。以下の会計年度任用職員を配置 所長1名、野外活動指導員1名、事務補助1名～3名程度 【委託業務】 宿直・夜勤業務、機械警備、清掃業務、除草業務、消防設備保守点検業務、塵芥処理業務、クライミングパネル保守業務、樹木害虫駆除、給水施設維持管理業務 宿直・夜勤業務と清掃業務はシルバー人材センターに委託。 除草業務は基本は職員が行い、斜面など危険が伴う箇所のみを委託 【休所日】毎週水曜日、12月28日から翌年1月4日まで						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			社会教育施設として安全で快適に学ぶことができる施設となるよう管理・運営を行い、子ども・若者の学習機会・体験活動の充実につながっています。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度 実績	06年度 実績	07年度 当初	08年度 要求	09年度 計画	10年度 計画	目標
5. コスト									
事業費		計	千円	27,562	31,335	34,124	36,277		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	2,500	2,500	2,500	2,609		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	6,688	6,143	6,624	6,624		
正職員人工数		人工	0.4	0.4	0.55				
正職員人件費		千円	3,126	3,209	4,610				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	30,688	34,544	38,734	36,277			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている									
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向		類似事業							
手段効率化余地		コスト削減余地							
公的関与		受益者負担							
上位貢献度		業務推進課題							
成果向上余地									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了		
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
開所から25年経過しており、計画的な営繕工事を進めるとともに、より効果的・効率的な管理・運営の在り方について検討を進める必要がある。			・施設の修繕、除草等は、安易に外部に発注せずに竜岩自然の家の職員で可能な限り行い、経費節減を図っている。 ・ドラゴンロックフェスタ等の主催講座事業を開散期（11月～2月）に開催することで、利用者の増加を図っている。また、キャンプ教室など、青少年の体験活動の講座を拡充している。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
昭和57年3月に龍岩小学校の閉校に伴い、地域の要望を踏まえ学校跡地を青少年のための社会教育施設として活用していたが、施設の老朽化等の問題もあり、平成4年に「竜岩自然の家建設調査委員会」が設置され、施設整備や運営の在り方などについて答申がなされた。平成12年4月に社会教育施設として開所。			・令和4年3月から、利用者からの要望であったテントや備品等の持ち込みを可能にしたことで、利用者増加につながっている。 ・令和6年度にピザ窯を職員自身の手で造り、令和7年度から一般利用も可能としており、さらなる施設の利用者増につなげていく。						